

ランチオンセミナー 46
6月23日(日)12:00～13:00
第6会場(福岡国際会議場)
共催:株)グッドマン
LS-46-2

新デバイスによる新戦略 ～開存期間を探る～

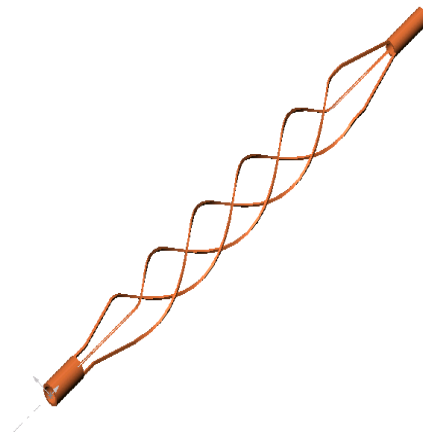
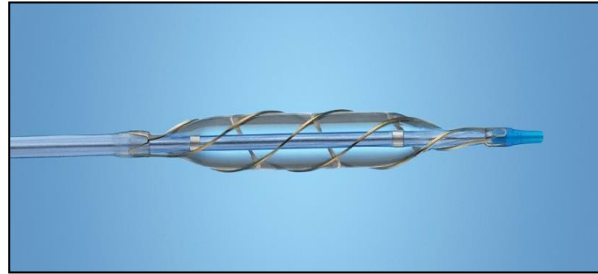
池田バスキュラーアクセス・透析・内科クリニック
池田潔

新デバイスのラインナップ

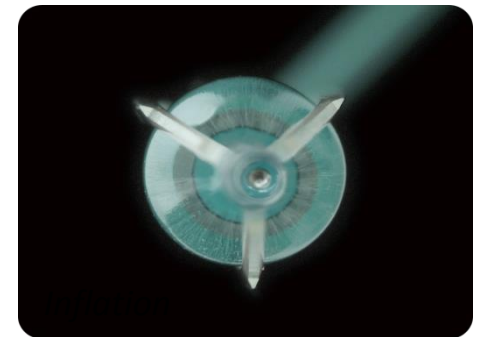
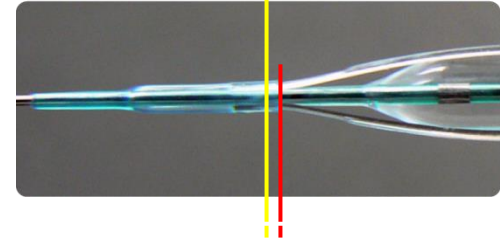
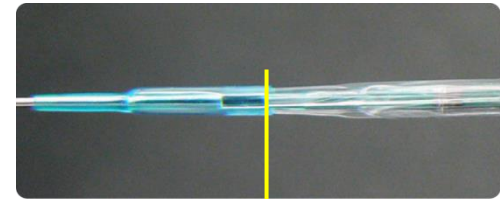
Peripheral Cutting Balloon™



AngioSculpt



Non Slip Element



新しいデバイスのスペック

Peripheral Cutting Balloon™ AngioSculpt® Non Slip Element
PTA™

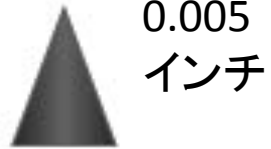
適合シース [Fr]	7	6	5
適合ガイドワイヤー [inch]	0.018	0.018	0.018
バルーン径 [mm]	5 ~ 6	4 ~ 6	4 ~ 6
バルーン長 [mm]	20	20, 40	20, 40

推奨拡張圧 [atm]	6	8	8
最大拡張圧 [atm]	10	14 , 16	16 , 18
カテーテル長 [cm]	50, 90, 135	90, 137	50, 90

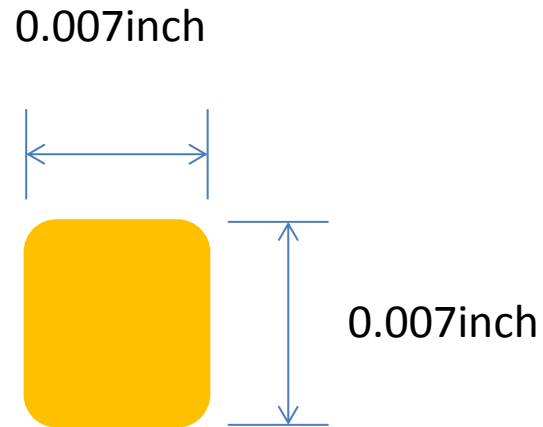
エレメント 数	4	4	3
高さ [inch]	0.005	0.007	0.0155
素材	ステンレススチール	ナイチノール	ナイチノール

Element の形状と高さ

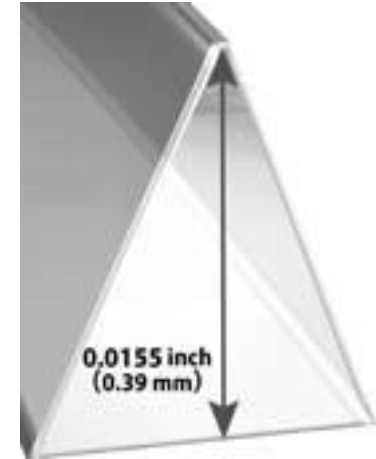
Peripheral CuttingBalloon™



AngioSculpt®



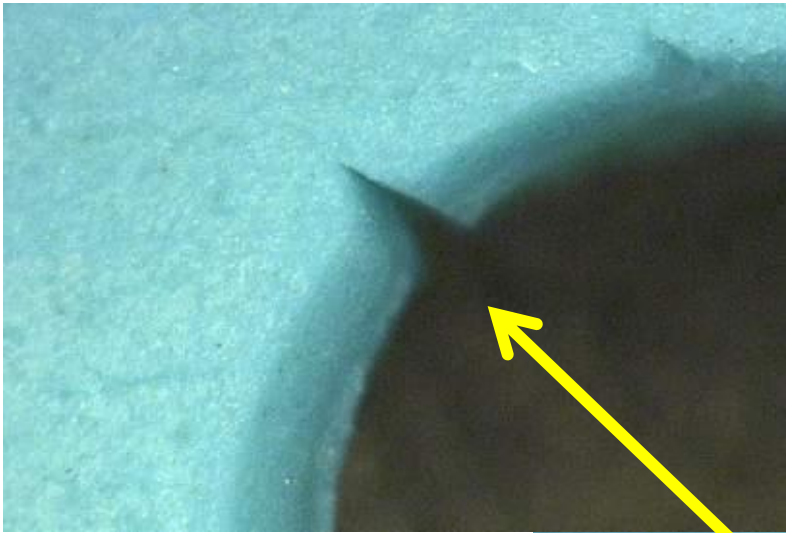
non slip element
PTATM



	Peripheral Cutting Balloon™	AngioSculpt®	Non Slip Element PTATM
特性	<ul style="list-style-type: none"> ① ステンレス製の鋭いブレードにより、プラークへ直接切れ目を入れることによる弾性組織、線維組織の分断 ② 低圧拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ① らせん状にスコアリングエレメントがバルーンに配置されており、スリップしにくい、病変部内腔に均一なバルーンの拡大 ② 良好なリラップによる通過性の良さ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 応力を血管壁に効率よく集中させており、その結果、スリップを防ぐ能力も高い ② 石灰化部にも有効
使用上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ① 屈曲部でのブレードの折れ曲がり、脱落など ② リラップが不良のため再挿入の禁止 ③ 石灰化部と完全閉塞部での使用禁止 ④ 拡張は1 atm で5 秒以上かけること 	<ul style="list-style-type: none"> ① スコアリングエレメントの脱落の報告 ② 血管内での回転は、引っ掛かりの原因 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2 ~ 3 atm までバルーンが病変に接するまではゆっくり拡張 ② バルーンとエレメントは、根本で接着されているのみのため間に引っかかる可能性あり。ワイヤーの操作に気を付ける ③ エレメントがトラップされる可能性があるため、血管内で回転させない

症例

石膏の切れ込みでは、歯が鋭く
周囲の挫滅面がない。



レンズ:X 30

6/4/2011 3:18:49 PM
0001

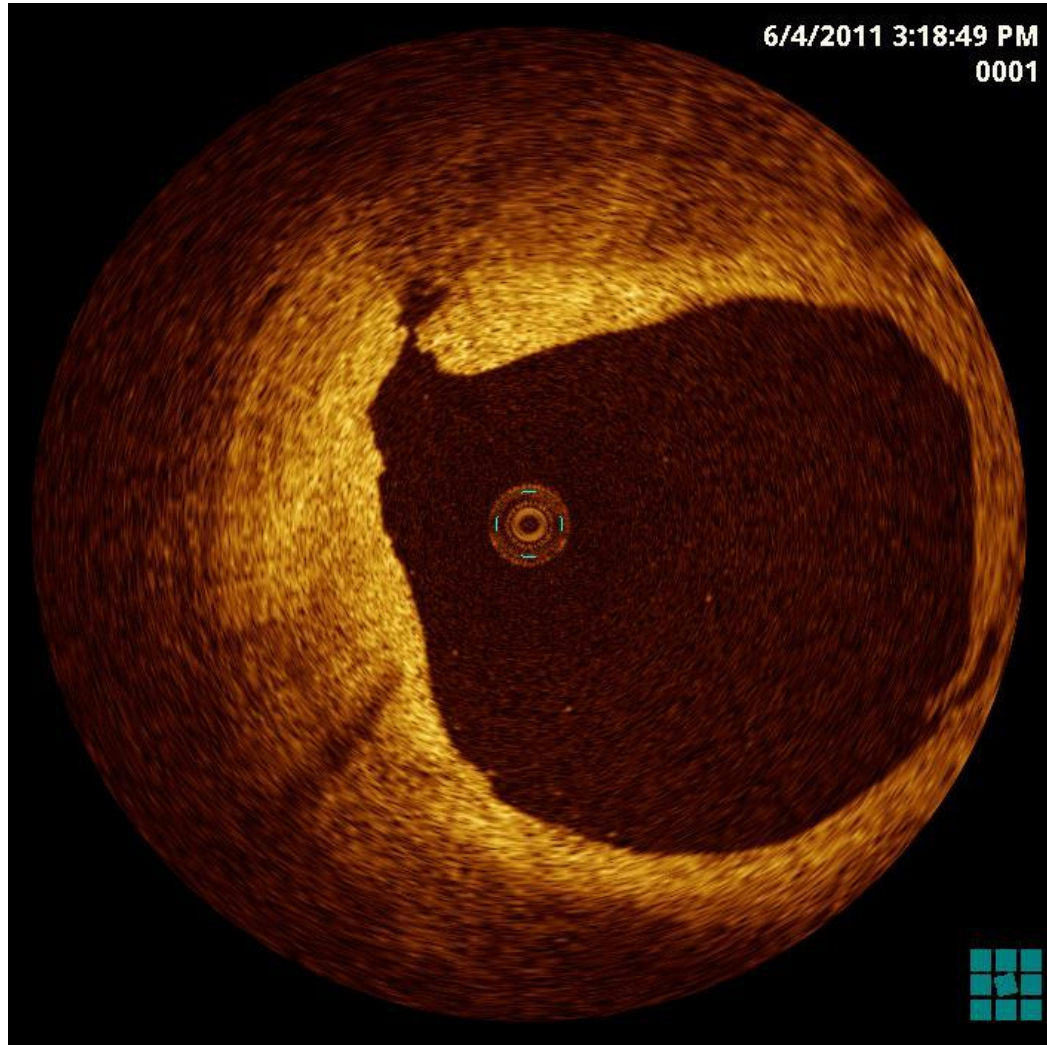


Fig.1 Primary Patency of VAIVT on AVF Cases

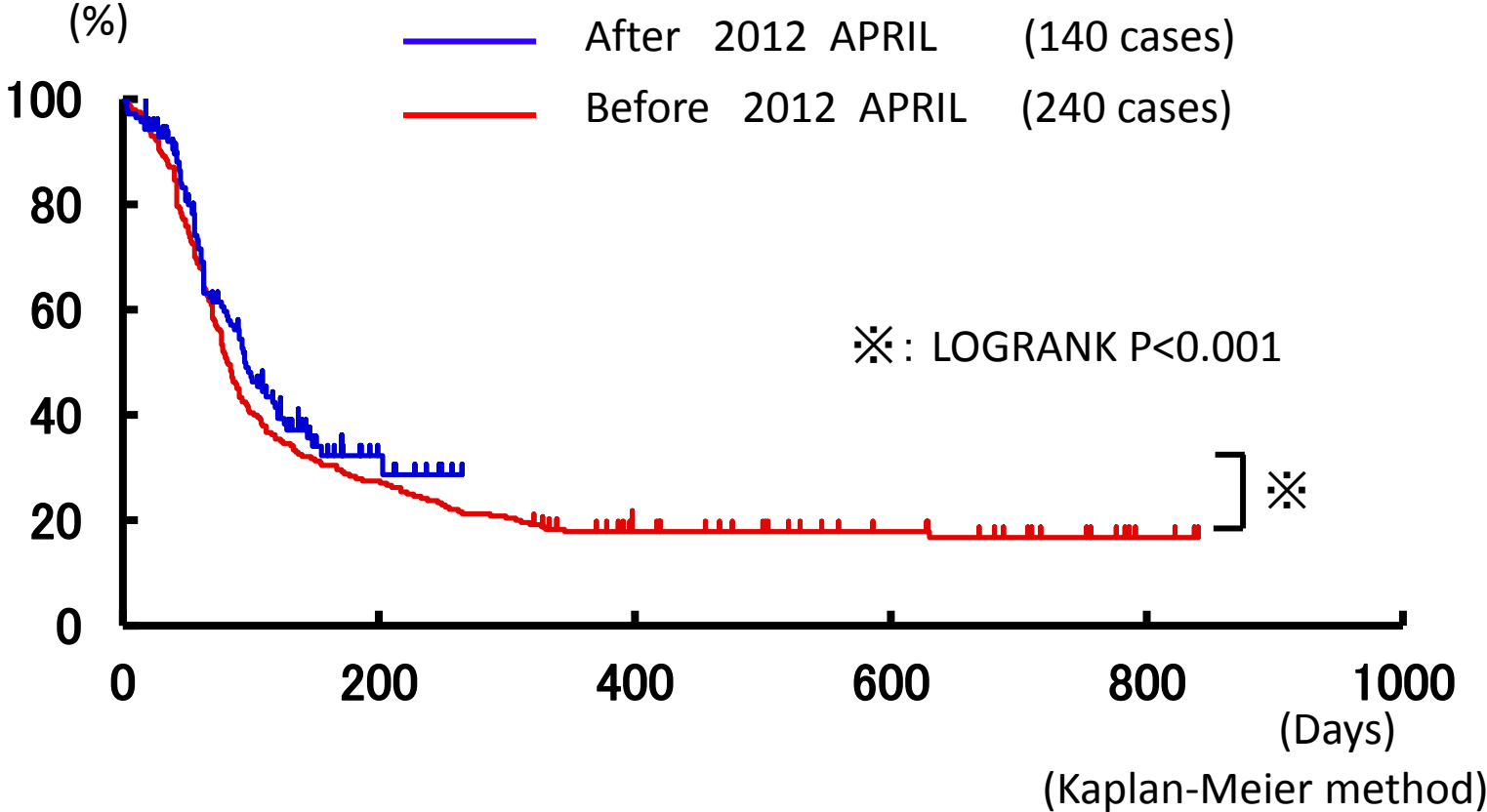
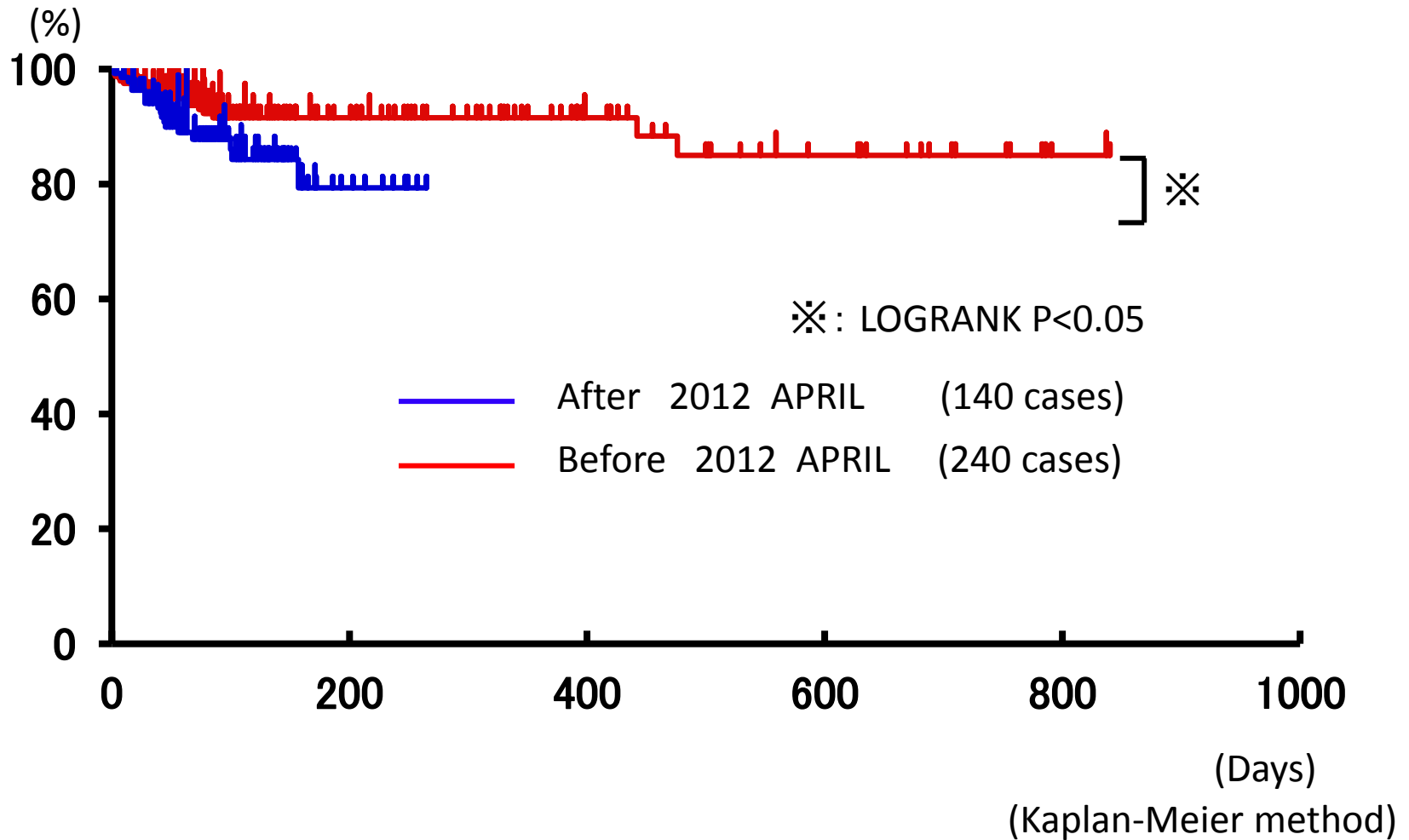


Fig.2 Secondary Patency of VAIVT on AVF Cases



【結語】

- #1 バルーン拡張は、内膜損傷による内膜肥厚の誘因となっている。
- #2 PCB、Angiosculpt、NSE、等の一部の内膜の切れ込みは、バルーン拡張のような内膜の大きな乖離は生じない。
- #3